

自家末梢血幹細胞採取のために ジーラスタ®皮下注を投与される患者さんへ

お薬説明書



Question

1

ジーラスタ®皮下注とはどんなお薬？

A ジーラスタ®皮下注は、骨髄から造血幹細胞を動員させ、末梢血(全身を流れている血液)の中に造血幹細胞を増やします。末梢血幹細胞採取の3～5日前を目安に1回だけ投与します。

Question

2

ジーラスタ®皮下注投与後にあらわれる副作用は？

A ジーラスタ®皮下注投与後は以下に記載した副作用があらわれることがあります。

本剤投与後、これらの症状や他に気になる症状があらわれた場合には、
担当の医師あるいは看護師、薬剤師に連絡してください。

● 多発性骨髄腫及び悪性リンパ腫患者を対象とした国内臨床試験で頻度の高かった副作用(10%以上)

背部痛*、骨痛*、頭痛、AL-P上昇、LDH上昇、尿酸増加、発熱

* 背部痛、骨痛: 本剤と同じく末梢血に造血幹細胞を増やす効果をもつお薬(G-CSF[granulocyte colony-stimulating factor: 顆粒球コロニー刺激因子])と呼ばれる製剤)でよく見られている副作用であり、好中球が骨髄の中で急激に増えているために起こると考えられています。腰・背中への痛みへの対応として、非麻薬性の鎮痛剤が処方されることがあります。

なお、本剤はQ1で述べた働きの他に、骨髄中で好中球(白血球)のもとになる細胞(前駆細胞)の増殖を促し、好中球が増えるのを助ける働きもあり、がん化学療法後の発熱性好中球減少症の発症を抑制する目的で広く使用されてきました。下記のような重大な副作用があらわれることがありますので、主な自覚症状の例を示します。

重大な副作用

主な自覚症状

ショック、アナフィラキシー

冷汗、顔面蒼白、手足が冷たい、呼吸困難(息苦しさ)、じん麻疹、めまい、喉のかゆみ

間質性肺疾患

息切れ、息苦しさ、咳、発熱

急性呼吸窮迫症候群

息切れ、息苦しさ、呼吸がはやくなる、手足の爪や唇が青紫色になる

芽球の増加*

息切れ、発熱、体がだるい、出血しやすい、めまい

脾腫・脾破裂

左上腹部の違和感・痛み

毛細血管漏出症候群

全身のむくみ、急激に体重が増える、心拍数増加、息切れ、めまい

Sweet症候群

発熱、痛みを伴う赤く盛り上がった発疹・紅斑

皮膚血管炎

発熱、あおあざができる、血液を含んだ水ぶくれ

大型血管炎

発熱、倦怠感、頭痛、首など様々な部位の痛み

※急性骨髄性白血病患者では本剤投与により芽球の増加を促進させることがあります。

芽球: 骨髄の未熟な血液細胞